

◎農を活かしたまちづくりの推進は

問 メロン、茶、米を、6次産業としてどのように推進するのか。

答 各種助成制度や、業者の持つ製造技術などを活用し、6次産業化の推進を図っていききたい。また、静岡理工科大学の高度機器の活用などにより、新たな6次産業の育成にも努めていききたい。

◎浅羽地区の都市計画税課税

問 浅羽地域には新たな都市計画税が課税されるが、浅羽西地区の都市計画事業をどのように計画しているのか。

答 浅羽西地区における都市計画税の課税金額は約3700万円である。今後の都市計画事業については、地域と相談し進めていきたい。

◎竹を活用した地域活性化を

問 日下英元氏により紹介された、孟宗竹を活用した施策により、地域活性化の促進が期待されると考えるが。

答 竹には様々な効能があり、その利活用は、放置竹林対策やバイオマス資源としても可能性が大きいことから、今後は、竹を粉碎した竹パウダーを活用した生ごみの堆肥化を進めていきたい。



竹パウダーの作製風景

市政に対する一般質問

よりよいまちづくりをめざして

◎新東名開通への対応は

問 新東名の開通を間近に控え、土地利用構想を策定し、企業誘致など、本市の発展に結びつけるべきと考えるが。

答 近隣市町の土地利用構想や道路計画等との整合性を図りながら、本市の活性化に向け対応していききたい。

◎観光基本計画の内容について

問 ハード事業を含め、本市の観光をどのように考えているか。「どまん中ふるくい」や「久野城址」を、観光の目玉にする考えはあるか。

答 ハード事業は具体化されていないが、今後、計画策定の中で、ハード・ソフトの両面から検討し、必要があれば計画に入れていきたい。

◎(仮称)歴史文化館の運営について

問 (仮称)歴史文化館を、郷土資料館、近藤記念館と連携させ、博物館的機能を持たせてはどうか。

答 市内に分散している文化財を収集・整理・保管するだけでなく、歴史講座や企画展などを開催し、博物館的機能を有する施設として整備したい。



(仮称)歴史文化館の整備を予定している浅羽支所